

【基本情報】

クラブ名	名古屋グランパス	
活動テーマ	クラブ運営の裏側を知る	
実施場所	クラブグランパス(オフィシャルグッズショップ)	
活動部署	ファンエクスペリエンス部 MD グループ	
参加者	加藤 玄選手	杉浦 駿吾選手
活動期間	2025 年 04 月 13 日(日)17:00~18:00	

【活動報告詳細】

■活動目的

業務を体験し、クラブ運営の一部を知り、これからの活動にいかす。
ショップスタッフ業務(挨拶、レジ、接客、品出し、ユニフォーム背番号圧着など)を体験する

■活動内容

まずはレジに立ち、グッズをご購入いただいたお客様のレジ対応を行いました。学生時代にアルバイト経験がない二人は初めて行うレジ業務に苦戦。スタッフのサポートを受けながら、ご購入いただいたグッズを丁寧に袋詰めして、お客様から直接頂く温かいお言葉に笑顔で応えていました。

加藤選手はお客様に快適にお買い物を楽しんでいただけるよう、レジ対応の合間に陳列が乱れた商品をきれいに整える作業を行いました。

■選手コメント

加藤 玄選手

クラブショップの店員としてレジでの会計作業や品出し、整理整頓、ユニフォームの圧着作業を体験した。クラブショップでの体験を通して、サッカーのクラブチームというのが、想像していたよりも大きな規模で運営されていて、多くの人が関わっているのだということを学んだ。普段選手として活動しているだけだとピッチでプレーすること、サッカーでファミリーを魅了することだけがこのクラブの価値だと勘違いしてしまうが、クラブとしてどんな価値を生み出せるのか改めて考えさせられた。来店して下さったファンの方々から温かい言葉をいただいて、この人たちに喜んでほしいという思いが芽生え、さまざまな形でパワーを届けられる選手、クラブになりたいと感じた。

杉浦 駿吾選手

クラブショップで研修をして感じたことは僕たち選手がより良い環境やチームでサッカーが出来るように色々な方が努力してくださっているなと改めて感じました。

実際にグッズを売る立場になってやらなくてはいけないことが沢山あってそれを短時間に全てこなすことに難しさを感じました。レジ打ちでは印象良く対応しながらお会計を進めることやユニフォーム圧着ではものすごく繊細な作業が必要とされました。今回このような経験が出来て少しですが、サッカー以外のクラブとしての働きを知れたので僕も出来ることを探してより良いクラブにしていきたいなと思いました。

■活動写真



写真提供／【名古屋グランパス】<https://nagoya-grampus.jp/news/hometown/2025/0416post-2475.php>

【基本情報】

クラブ名	名古屋グランパス		
活動テーマ	今池商店街グランパスフラッグ交換		
実施場所	今池商店街各所の街路灯		
協働団体	今池商店街	グランパスサポーター有志	名古屋グランパス
参加者	加藤玄選手	杉浦駿吾選手	今池商店街有志の皆様
	サポーター有志の皆様	グランパス社員	
活動期間	2025 年 2 月16日(日)		

【活動報告詳細】

■活動目的

サポートタウンの今池商店街では毎シーズン、クラブフラッグを掲出していただいている。フラッグの付け替え作業を商店街やサポーターの皆様、クラブで連携して実施することで地域との一体感及びフラッグ掲出により地域の盛り上げに寄与する。
~~新人選手には商店街、グランパスのサポーター、クラブスタッフとともにフラッグの付け替え作業を実践することで、日ごろから地域からクラブを支えてくださるステークホルダーの方々との交流を図り、ホームタウンでの活動への理解を促進する。~~

■活動内容

今池交差点を中心とした東西南北約2kmの通り沿いのグランパスフラッグ取り換え作業

■選手コメント

加藤玄選手

クラブの活動は、地域やその住民の方、サポーターの方々によって支えられているということを実感し、だからこそそその方々に応援されるような選手、人間でありたいと思った。今回の活動の中でもコミュニケーションを取ったり一緒に行動したりすることをすごく喜んでくださって、自分自身もすごい充実感があつたしこれからもこのような活動に積極的に参加していこうと思った。サッカー選手がどのような影響を社会に与えられるのか考え続けていきたい。

杉浦駿吾選手

この活動を実施してファン、サポーターの方や街全体の協力がそのクラブを大きく強くするのだなと改めて感じました。クラブはクラブのことだけを考えて何かを企画したり、そのJクラブ所属の選手は、サッカーだけをするのではなく、影響力のあるプロ選手だからこそファン、サポーターの方々に対して発信したり、街全体を盛り上げるた

めの企画に参加したりすることがサッカー以外にも自分の価値を高める行動につながると感じました。僕自身もサッカーではないところでも何か貢献できるようになりたいと思います。

■活動写真

